



豊平区ネットワーク会議

ニュース



2017年
(平成29年)
12月発行
第9号

「平成29年度防災部会」を開催！

12月6日(水)午前10時30分から、豊平区ネットワーク会議平成29年度防災部会(渡辺英雄(わたなべ ひでお)部会長)が豊平区民センターで開催され、町内会の役員や区内の防災団体の関係者など約40人が参加した。

渡辺部会長の着任の挨拶に続き、小林市民部長より「地震、台風、大雨などの災害による被害を少しでも食い止めるためには、地域での減災の取り組みが大変重要。この会議が減災に取り組むきっかけとなつてほしい」と挨拶があった後、防災部会が開会した。



渡辺英雄部会長



部会の様子

最初に区役所保健福祉部から、災害発生時における要配慮者避難支援の取り組みなど、地域での支え合いについて説明を行った。また、事務局から、今年の夏に3つの小学校で開催された防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」の様子や、8月に実施された豊平区防災訓練及び10月の防災研修会などについて報告があった。その後、各地区における防災事業の報告があり、平岸地区からは「机上だけでなく、色々な研修を重ねることが効果的だと思うので、豊平区には引き続き支援をお願いしたい」との意見が出され、閉会した。

地区防災研修会開催支援事業

| 簡易型災害図上訓練 (DIG) | 避難所運営ゲーム (HUG) |
|-----------------|----------------|
| | |
| 防災講話 | 防災資機材解説 |

避難所運営ゲーム (HUG)

避難所の見取り図やカードを使用し、災害時の避難所内で起こる様々な出来事を模擬体験することで、参加者同士で避難所運営方法についての議論を進めていく。

簡易型災害図上訓練 (DIG)

参加者が大きな1枚の地図を囲み、大規模災害の発生を想像しながら危険箇所・避難経路などをそれぞれが書き加え、議論を深めていく。



HUGを実施したが、参加者一人一人が活発に意見を出し合い、有意義な研修となった。机上だけでなく、色々な研修を重ねることが効果的だと思つたので、豊平区には引き続き支援をお願いしたい。(平岸地区)



月寒地区では町連として初めてDIGを実施したが、参加者が少なかつた。検討の結果、来年度は3地区に分割し、DIGだけではなくHUGまで進めたいと考えている。(月寒地区)



中の島は地理的に水害を想定している人が多いが、防災資機材は地震や火災などの各種災害に対応するものも入っており、水害以外の災害に対しても防災意識が向上した。(中の島地区)

災害発生時の地域での支え合い～要配慮者の避難支援～(要旨)

1. 要配慮者避難支援とは

高齢者や障がいをお持ちの方、妊産婦など状況によって手助けが必要となる方など災害時に自力で避難することが困難な方(要配慮者)を手助けする仕組みを、町内会など地域ぐるみで整えることを「要配慮者避難支援」といい、札幌市では平成20年度からこの取組を行う地域へ、体制づくりに関する情報提供などを行っている。



2. 要配慮者避難支援の進め方

①きっかけづくり・機運づくり

まち歩きの実施、防災訓練への参加、防災マップづくりなどを「きっかけ」に、実際に災害が発生したらどうするか、どのように避難するか、避難時の近所での支え合いはどうかを話し合う。次に、市民防災センター等の見学や、先進的な事例の視察など、要配慮者避難支援の機運を高める取組へつないでいく。

②支援母体を決めよう

単位町内会をはじめとした既存組織を活用し、その支援母体に民生委員や高齢者団体、ボランティア団体など、多くの組織・団体・人に参加してもらい、必要な情報を持ち寄る。

③支援プランの作成

支援体制…要配慮者に対し、何名で支援をするかなど
支援内容…どのような支援を行うか
情報収集方法…要配慮者の情報をどのように収集するか
個人情報の取扱い…収集した情報の保管方法や更新時期など

④要配慮者・支援者の募集

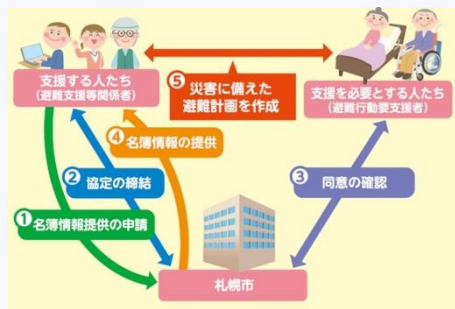
要配慮者については、手上げ方式(要配慮者本人からの申し出)と同意方式(支援母体などから直接本人に働きかけ)の併用が望ましい。要支援者は、要配慮者1人に対して複数確保することが望ましい。要配慮者自身が直接お願いするのは難しい場合が多く、支援母体が間に入って調整しながら進めるのが有効。

⑤要配慮者・支援者のマッチング

なるべく近くに住む方同士を組み合わせるのが望ましいが、要配慮者の状況も考慮しながらマッチングし、組み合わせ台帳を作成する。

3. 避難行動要支援者名簿について

要配慮者の中でも災害時の避難に特に支援を必要とする方たちの名簿の作成が市町村の義務となった。この名簿の情報は、本人の同意を得られれば、町内会等の地域団体に提供することができる。



発行 豊平区市民部総務企画課

〒062-8612 豊平区平岸6条10丁目

「アップルスマイル」は「おもてなしの街・豊平」を表すロゴマーク。



電話 011-822-2405